



私たちは 『買われた』展

- 私が売春していたのは、小6の11月26日から始まり、2年間です。
- 「こいつらに捕まったのが私でよかった」と思うようにしていました。
- “男性”は私を道具としてしか見なかった。
- 「お金ないなら、稼いできてよ」友達がいなくなるのが怖かった私は従った。
- 私から勉強がなくなったら、何も残らないと思った。
- JKビジネスがきっかけで、お姉ちゃんに誘われて。
- 体を差し出す代わりにおにぎり一つもらった。

私たちが、いま、
ここに生きていることを知ってほしい。

2018年

11月3日(土) ~ 11月6日(火)

場 所：広島県民文化センター地下展示室（広島市中区大手町一丁目5-3）

展示時間：午前11時から午後7時（最終日は午後4時終了）

主 催：“こどもの笑顔と安心、安全な地域づくり！”ネットワーク

入 場 料：1500円、高校生以下は無料 ※要予約 事前にご予約をいただき、当日受け付けにて参加料をお支払いください

予約申し込み先：メール/kodomo.egao.net2015@gmail.com

TEL/090-7998-6113 FAX/082-233-8655

WEBサイトからも申込できます >> <https://kodomoegaonet2015.wixsite.com/mysite-1>



売春する中高生について、どんなイメージを持っていますか？

ある大学で学生たちにそう投げかけると、こんな言葉が返ってきた。

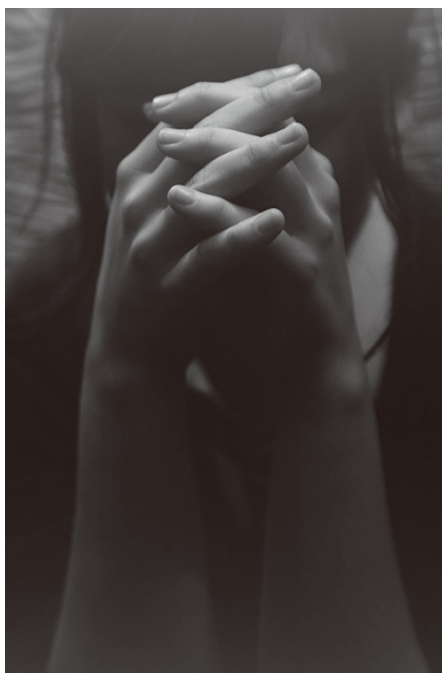
- 快樂のため
- 愛情のため
- その場限りの考えで
- 遊ぶお金がほしいから
- 優越感に浸るため
- 自分も街で買春をもちかけられたことがあるけど、断った。

だから、やる人はやりたくてやっているんだと思う

- 正直、そんな人と関わりたくない。
- どうしてそこまでやれるのか、理解できない。

当事者の A は言った。

「そんなもんだよ。世の中の理解なんて。もう、そんなことでは傷つけなくなった」



「行くところがないとき、「声をかけてくれるのは男の人だけだった。頼れるのが、そういう人しかいなかった。何日も何も食べていなかったから、仕方なかった」(15歳・中学生)

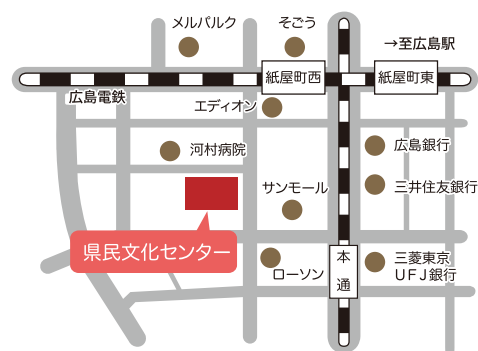
「買った大人への怒りとかいうよりも、買われる前の背景があることを知ってほしい。家族や学校、施設で虐待されたり、ひどいことを言われたりしたことが繋がっている。そうでもしないと、生きられなかった」(20歳・高校生)

【主催】 “こどもの笑顔と安心、安全な地域づくり！” ネットワーク

【企画】 一般社団法人 Colabo

Colabo とつながる少女によるグループ Tsubomi

【後援団体】 広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国新聞、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム、NPO 法人性暴力被害者サポートひろしま



“こどもの笑顔と安心、安全な地域づくり！” ネットワークは、子どものための活動を行う 14 団体が集まったネットワークです。ネットワークでは、Colabo の活動を応援しています。一般社団法人 Colabo は「すべての少女に衣食住と関係性を。困っている少女が暴力と搾取に行きつかなくてよい社会に」を合言葉に、虐待や性暴力にあうなどした女子を支援する活動をしています。